

アルデ 排気型集中換気システム

ユーザーマニュアル

! 《警告》 安全のために必ずお守りください

基本的な動作

メンテナンス

おかしいなと思ったら

アルデ総輸入発売元






シュレーゲル エンジニアリング株式会社

ユーザーガイド

《警告》安全のために必ずお守りください

- ☞ご使用前に、この《安全のために必ずお守りください》をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ☞ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

●表示と意味は次のようになっています。

	危険	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などを危険が切迫して生じることが想定されるもの。
	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などを負う可能性が想定されるもの。
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷を負う可能性が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

《危険》

- ◎分解や改造をしない。
モーターの故障につながり、思わぬ発熱などで火災などの原因になります。また、漏電、感電、などの事故やファンの故障の原因になります。モーター本体には、アルデ及び日本代理店が指定する部材品以外は使用しないで下さい。
- ◎動作中は手を触れない。
アルデ本体には、絶対動作中には手を触れないでください。感電、シロッコファンによる接触事故などの原因になります。

《注意》

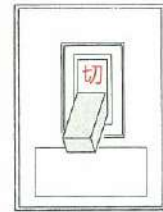
- ◎アルデ本体の取り付け方法を間違えない。
アルデ本体を垂直または上から吊す以外の方法で取り付けた場合、振動、騒音、モーター故障の原因にもなります。
アルデ本体は屋外には取り付けられません。
- ◎モーター本体の接続線は強く引っ張らない。
強く引っ張ることにより、中の結線が外れ、漏電やモーター故障の原因になります。
- ◎空気が流れる場所には塞がない。
ドアのアンダーカット、らんま、壁の給気口などの空気の通り道などは塞がないで下さい。換気がスムーズに行われなくなる原因になります。
また、外排気グリルには防虫網は取り付けしないでください。排気量の減少の原因となります。
- ◎アルデ換気計画設計書の保管。
ダクトの配管経路に何か不都合の生じたとき、確認するために、必ず業者から、アルデ換気計画設計書を受取保管しておいてください。
- ◎アルデ本体は24時間連続運転が基本です。
アルデ換気システムには、ON、OFFのスイッチは付けられておりません。換気の基本は24時間連続的に動くことを基本としています。

《運転チェック》

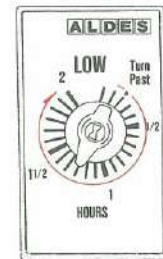
- ◎手または、線香の煙などで排気が正常に行われているかチェックしてください。
手のひらで排気を感じられないか、線香の煙がガラリから吸い込まれないかで、確認する事ができます。

基本的な動作

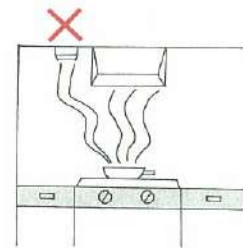
- アルデ換気システムは24時間の連続運転が基本です。止めるときには、ブレーカーをOFFにしてください。(図1)
- タイマーを廻して強運転に出来るのは、キッチン用の排気口だけです。下記の事項に従って操作して下さい。
 - ①タイマーは、最長2時間まで使用できます。2時間以上使用する場合は再度タイマーをセットし直して下さい。(図2)
 - ②リビング、ダイニングなどでタバコなどを吸う人がいるとき、もしくは来客が多い場合、調理をするときなどに使用して下さい。
 - ③ペットなどの動物を室内に入れたとき。
 - !④アルデ換気システムのキッチン用排気口は、レンジフードファン用のものではありません。レンジを使用して調理する時は、必ずレンジ用換気扇を使用して下さい。(図3)
- アルデ換気システムの換気計画は、通常の生活状態での空気汚染を防止することを基本に計算されています。下記の事項は必ず守って下さい。
 - !※室内で燃焼器具を用いた場合は、一酸化炭素中毒をアルデ換気システムで防止することはできませんので、開放型ストーブ(燃焼ガスを室内に放出する)は基本的には使用しないで下さい。温水パネルヒーター、電気ヒーター等燃焼ガスを室内に放出しないタイプは問題ありません。(図4)
 - !※煙、匂い、異常な水蒸気などが発生した場合には、部屋の窓、勝手口の開放またはレンジフードファンを作動させることにより、一時的に排気を促進させなければなりません。(図5)
- アルデ本体から発生すると思われるモーター音は、押し入れの中など仕切られた場所に設置する程度でも、寝室の規準騒音許容レベルである35ホンを越えることはありませんが、それでも運転音が気にかかる場合には、アルデ本体の設置場所の防音工事をするにより軽減できる場合もあります。(図6)



(図1)

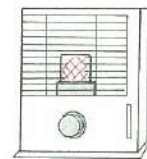


(図2)

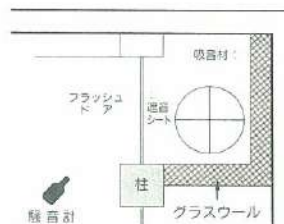


(図3)

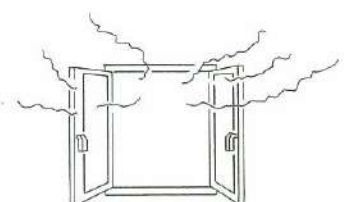
石油ガス・ファンヒーター ×



(図4)



(図6)



(図5)

メンテナンス

- アルデ本体のシロッコファンは、一年に一度クリーニングして下さい。

下記の手順で行って下さい。

①アルデの電源回路のブレーカーをOFFにして、モーター本体が完全に停止したことを確認する。

②外部排気用ダクトの本体側を外します。

- ! ③内部シロッコファンの羽根に付いた埃等を、中性洗剤の溶液を布に含ませて羽根の汚れを一枚一枚落として下さい。

その際、シンナーなどの溶剤系のものは使用しないで下さい。故障の原因となるおそれがあります。(図7)

④乾いた布で再度羽根を拭いて、きれいにします。(図7)

⑤外した外部排気用ダクトをアルデ本体に取りつけて、ダクトと本体の間に隙間がないように固定します。

⑥アルデの電源回路のブレーカーをONにして、モーターが動き始めることを確認する。

- キッチン用排気口のフィルターは、汚れに応じ随時クリーンアップすることにより排気量の低下を防ぐ事ができます。クリーニングは下記の手順で行って下さい。(図8)

①排気口のプラスチックグリル部分を外します。

②内部のフィルターを押さえているプラスチックのリングを外すとフィルターが取れます。

- ! ③中性洗剤の溶液につけて汚れを落とし、水洗いし乾かします。

その際、シンナーなどの溶剤系のものは使用しないで下さい。

④フィルターをプラスチックグリルに戻し、プラスチックリングで押さえ、その後プラスチックグリル部分を排気口に押し完全に止まるのを確認して下さい。

- 給気口(壁用)内のフィルターは、2~3ヶ月に一度汚れ具合によって、下記の手順で行って下さい。(図9)

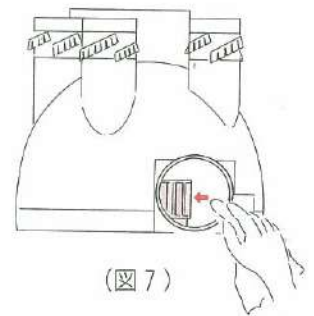
①羽根のついたプラスチック製グリルは、軽く廻すか、引っ張ることにより簡単に外すことができます。

②内部の黒いスポンジ製のフィルターを取り出します。

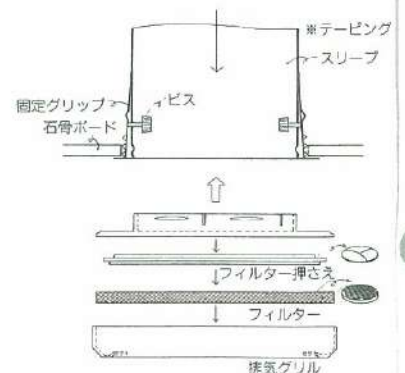
- ! ③中性洗剤の溶液につけて汚れを落とし、水洗いし乾かします。

その際、シンナーなどの溶剤系のものは使用しないで下さい。

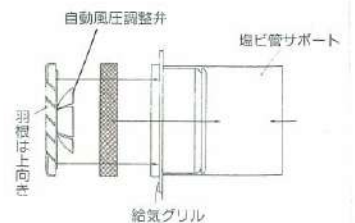
④フィルターを給気口に戻し、プラスチック製グリルを給気口に戻します。



(図7)



(図8)

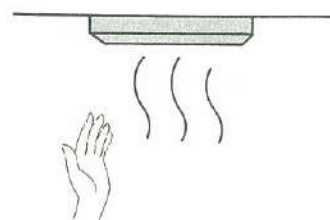


(図9)

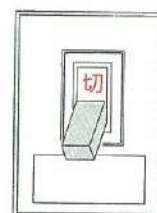
おかしいなと思ったら

アルデ換気システムは、24時間廻り続けています。何かいつもと違うなと思ったら次の点をチェックして下さい。

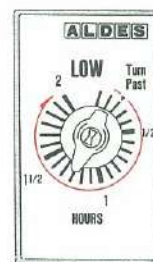
- ! ●匂いが前よりも抜けにくい感じがする、湿気を前より感じるようになった。
埃が前よりも多くなったような気がする。以上の事が感じられたり、気になり始めたら下記の事項をチェックして、アルデ換気システムが正常に動いているか確認してください。
 - ①各排気口に手をあてて、空気が引っ張られているか確認する。(図10)
 - ②タイマーを作動させて、キッチン用の排気口からの空気の流れが増大するか確認する。
 - ③ブレーカー回路がOFFになっていないか確認する。(図11)
 - ! ●アルデ本体の運転音が異常に高く、モータの騒音が気になるようになったら下記の事項をチェックして下さい。
 - ①強運転になっているかどうかタイマーを確認すること。(図12)
 - ②アルデ本体が、収納場所の柱や壁に接触もしくは共鳴して異常な音を発生させていないか確認する。(図13)
 - ③アルデ本体内部のシロッコファンが、何かに接触して異常な音を発生させていないか確認する。
- ※以上の点検で異常のある場合には、ただちに施工業者、または販売元であるシュレーゲルエンジニアリング株式会社まで連絡して下さい。



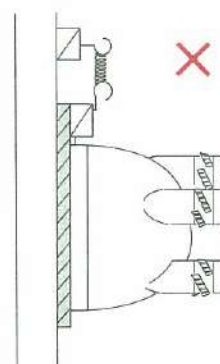
(図10)



(図11)



(図12)



(図13)